



令和6年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年8月10日

上場会社名 4097 上場取引所 東
コード番号 高圧ガス工業株式会社 URL <https://www.koatsugas.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)黒木 幹也
問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員管理本部長 (氏名)池田 佳弘 (TEL)06(7711)2570
四半期報告書提出予定日 令和5年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第1四半期の連結業績(令和5年4月1日～令和5年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第1四半期	22,252	3.4	1,325	8.8	1,742	8.3	1,230	17.2
5年3月期第1四半期	21,504	10.9	1,217	△1.4	1,607	9.8	1,048	4.6

(注) 包括利益 6年3月期第1四半期 2,280百万円(172.5%) 5年3月期第1四半期 836百万円(1.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第1四半期	22.28	—
5年3月期第1四半期	18.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第1四半期	109,643	70,790	63.9
5年3月期	107,506	69,070	63.6

(参考) 自己資本 6年3月期第1四半期 70,110百万円 5年3月期 68,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
6年3月期	—	—	—	—	—
6年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 令和5年3月期の期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 記念配当 2円00銭

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	2.2	2,700	10.4	3,000	0.6	2,000	0.9	35.98
通期	95,000	3.8	5,700	11.4	6,100	5.0	4,100	4.0	73.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

6年3月期1Q	55,577,526株	5年3月期	55,577,526株
6年3月期1Q	373,589株	5年3月期	373,494株
6年3月期1Q	55,203,981株	5年3月期1Q	55,204,076株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第1四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復の動きがみられたものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料及びエネルギー価格の高騰や世界各国の金融引締めによる為替変動などの影響により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は222億52百万円（前年同期比3.4%増加）、営業利益は13億25百万円（前年同期比8.8%増加）、経常利益は17億42百万円（前年同期比8.3%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億30百万円（前年同期比17.2%増加）となりました。

当第1四半期連結累計期間における、セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ガス事業

ガス事業を取り巻く環境は、鉄鋼、自動車、半導体、建設など仕向け先において、需要回復が鈍く、更に原材料の供給制限が続く厳しい状況で推移いたしました。このような事業環境のなか、当事業ではシリンダーガスビジネスの持続的な成長や収益の改善を目指し、地域に密着した営業に努めてまいりました。

『溶解アセチレン』は、建設及び土木関連の現場向け出荷数量が減少したものの、造船業界向け出荷数量の回復と原材料の上昇による価格改定により、売上高は前年同期を上回りました。

『その他工業ガス等』は、窒素が大手ユーザー向け需要の回復及び新規獲得により数量は増加しました。一方、酸素が現場工事向けに、アルゴン、炭酸がプラントメーカーの生産量の減少に伴う原料出荷制限があり、また、LPガス等は需要の減少により出荷数量がそれぞれ減少しました。売上高ではLPガス等が輸入価格の下落に伴う販売価格の低下により減少しましたが、その他各種原材料価格の上昇による価格改定を実施したことにより、前年同期を上回りました。

『溶接溶断関連機器』は、設備工事や工作機械等の受注が一部回復し、売上高は前年同期を上回りました。

『容器』は、一般工業用向け容器の出荷数量が減少したものの、原材料の上昇による価格改定により、売上高は前年同期を上回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は161億63百万円（前年同期比2.6%増加）となりました。営業利益は13億29百万円（前年同期比2.0%増加）となりました。

② 化成品事業

化成品事業を取り巻く環境は、原材料の供給面は安定してきたものの、依然として原材料価格の高止まりや、エネルギーコストの高騰が続く厳しい状況で推移しました。このような事業環境のなか、当事業では仕向け先への製品の安定供給に努め、また、新しい技術の開発に注力し、環境にやさしい製品や付加価値の高い製品づくりに努めてまいりました。

『接着剤』は、ペガールが粘着用が減少したものの、塗料用及び紙用が新製品の開発により増加しました。シアノンが北米向けに高機能品が増加したものの、韓国・東南アジア向けコンシューマー用の需要が減少しました。ペガロックが海外向けは中国ロックダウン解除により中国向けが回復したものの、国内向けが住宅設備関係の需要が減少しました。売上高は、接着剤全般の原材料価格の高騰に伴う価格改定もあり、前年同期を上回りました。

『塗料』は、建築用塗料が高機能品の「ビーズコートシリーズ」の伸長があったものの、汎用塗料は、戸建改修の需要が減少しました。また、エアゾール製品も需要が減少し、前年同期を下回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は50億73百万円（前年同期比1.3%増加）となりました。営業利益は2億42百万円（前年同期比5.2%増加）となりました。

③ その他事業

その他事業は、LSIカード関連及び食品添加物の需要が増加して前年同期を上回り、売上高は10億16百万円（前年同期比34.0%増加）、営業損失は5百万円（前年同期は、38百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ21億37百万円増加して1,096億43百万円となりました。流動資産は、棚卸資産が増加したものの、売上債権が減少したことにより前連結会計年度末に比べ8億82百万円減少して、591億15百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の時価が上昇、有形固定資産が増加したことにより前連結会計年度末に比べて30億19百万円増加し、505億27百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億17百万円増加して388億53百万円となりました。流動負債は、未払法人税等などが減少したことにより前連結会計年度末に比べ2億38百万円減少し、282億36百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債が増加したことにより前連結会計年度末に比べ6億55百万円増加し、106億16百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことにより前連結会計年度末に比べ17億20百万円増加して707億90百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、令和5年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,260	26,362
受取手形及び売掛金	21,644	20,289
電子記録債権	5,742	5,744
商品及び製品	3,445	3,628
仕掛品	757	848
原材料及び貯蔵品	1,835	1,742
その他	370	548
貸倒引当金	△58	△48
流動資産合計	59,998	59,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,993	12,889
機械装置及び運搬具（純額）	4,347	4,229
土地	15,296	15,302
建設仮勘定	2,052	3,580
その他（純額）	1,238	1,317
有形固定資産合計	35,927	37,319
無形固定資産	593	634
投資その他の資産		
投資有価証券	9,731	11,288
繰延税金資産	192	170
その他	1,146	1,197
貸倒引当金	△83	△82
投資その他の資産合計	10,986	12,573
固定資産合計	47,508	50,527
資産合計	107,506	109,643

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,294	10,838
電子記録債務	8,624	8,490
短期借入金	1,205	1,225
1年内返済予定の長期借入金	1,120	1,120
未払法人税等	926	305
賞与引当金	1,456	662
その他	3,847	5,593
流動負債合計	28,474	28,236
固定負債		
長期借入金	7,743	7,713
退職給付に係る負債	83	84
役員退職慰労引当金	23	17
繰延税金負債	1,400	2,093
その他	710	708
固定負債合計	9,960	10,616
負債合計	38,435	38,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,811	2,811
利益剰余金	59,097	59,775
自己株式	△200	△200
株主資本合計	64,593	65,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,632	4,712
為替換算調整勘定	168	107
退職給付に係る調整累計額	15	18
その他の包括利益累計額合計	3,816	4,838
非支配株主持分	659	679
純資産合計	69,070	70,790
負債純資産合計	107,506	109,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
売上高	21,504	22,252
売上原価	15,726	16,198
売上総利益	5,777	6,053
販売費及び一般管理費	4,560	4,728
営業利益	1,217	1,325
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	132	133
為替差益	170	155
受取手数料	21	21
その他	123	141
営業外収益合計	448	454
営業外費用		
支払利息	6	11
その他	52	26
営業外費用合計	58	37
経常利益	1,607	1,742
特別利益		
投資有価証券売却益	0	119
特別利益合計	0	119
特別損失		
投資有価証券売却損	—	8
特別損失合計	—	8
税金等調整前四半期純利益	1,607	1,854
法人税、住民税及び事業税	322	385
法人税等調整額	230	223
法人税等合計	552	608
四半期純利益	1,055	1,245
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,048	1,230

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)
四半期純利益	1,055	1,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△205	1,093
為替換算調整勘定	△16	△61
退職給付に係る調整額	3	3
その他の包括利益合計	△218	1,035
四半期包括利益	836	2,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	830	2,252
非支配株主に係る四半期包括利益	6	28

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,742	5,003	757	21,504	—	21,504
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,742	5,003	757	21,504	—	21,504
セグメント利益又は 損失(△)	1,302	229	△38	1,493	△276	1,217

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△276百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,163	5,073	1,016	22,252	—	22,252
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,163	5,073	1,016	22,252	—	22,252
セグメント利益又は 損失(△)	1,329	242	△5	1,565	△240	1,325

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△240百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。